

聖マリア病院を過去に受診された、または現在受診中の皆様へ

聖マリア病院では、皆様の診療情報等を利用し、下記の研究を実施しております。

研究内容につきましては、社会医療法人雪の聖母会 研究倫理審査委員会にて承認されたものです。本研究の対象者に該当される可能性のある方で、ご自分の診療情報等を研究目的に利用してほしくない場合、また、研究について詳細にお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先まで、ご連絡をお願いいたします。なお、解析用のデータが確定（データ固定）している場合は、研究データからあなたの情報を削除できませんので、ご了承ください。

研究課題名	硬膜動静脈瘻に対する Onyx 液体塞栓システムを用いた経動脈塞栓術に関する多施設共同登録研究（略称 Onyx dAVF TAE Registry）		
実施予定期間	承認後～2021年9月30日		
対象患者	当院にて Onyx 液体塞栓システムを用いた経動脈塞栓術を受けた患者さん		
対象期間	2018年9月1日～2021年3月31日		
研究機関の名称	社会医療法人雪の聖母会聖マリア病院		
対象診療科	脳神経外科		
研究責任者	氏名	高橋 研二	所属 脳神経外科
使用する資料等	診療情報より下記事項を調査します。 年齢、性別、治療前の日常生活自立度(modified Rankin Scale以下mRSとする)、症候・症状、硬膜動静脈瘻の部位、Borden分類、Cognard分類、最終治療日、Onyx注入血管、使用システム、使用量(ml)、Onyx TAE以外の治療、手技に関するイベントの有無とその内容、治療後の閉塞状態、複数回治療を行った場合の概要、術後30日までの脳卒中の有無とその内容・治療との関係、術後30日までの脳卒中以外のイベントの有無とその内容・治療との関係、術後30日後のmRS、術後180日後のmRS、術後180日後の画像診断(閉塞状態)、術後30日以降のイベント		
研究の概要	日本脳神経血管内治療学会主体の多施設共同登録研究です。 硬膜動静脈瘻に対し、Onyx液体塞栓システムを用いた経動脈塞栓術を受けた患者さんの情報を収集・解析することにより、Onyx液体塞栓システムを用いた経動脈塞栓術の効果および安全性を評価します。		
倫理審査	研究倫理審査委員会承認日	2019年5月14日	
研究計画書等の閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。詳細な方法に関しては下記の問い合わせ先にご連絡ください。		
結果の公表	学会や論文等で発表いたします		
個人情報の保護	個人情報を保護するために責任者を設定します。研究する際、個人の特定につながる情報は、当院で特有の番号に置き換えて（このことを「匿名化」と言います）管理します。学会等で発表する場合も、個人を特定できる情報は使用しません。		
知的財産権	日本脳神経血管内治療学会に属します		

研究の資金源	特にありません	
利益相反	研究結果に影響を与えるような利害関係はありません	
問い合わせ先・ 相談窓口	聖マリア病院 脳神経外科 高橋研二	
	電話	0942-35-3322